

岩屋古墳(米子市淀江町)

岩屋古墳は前方の丘陵上に所在する



こちらから丘陵上に登っていく



淀江平野の東部の独立丘陵には、向山と瓶山にある古墳16基及び福岡集落の南にある石馬谷古墳からなる向山古墳群が所在する/向山古墳群は淀江平野南東端の独立丘陵を中心に築造された8基の古墳群で、5世紀後葉～6世紀後葉に順次築造された/古墳時代後期の汗入地域の歴代首長の墓と考えられると云う/向山1号墳が岩屋古墳である

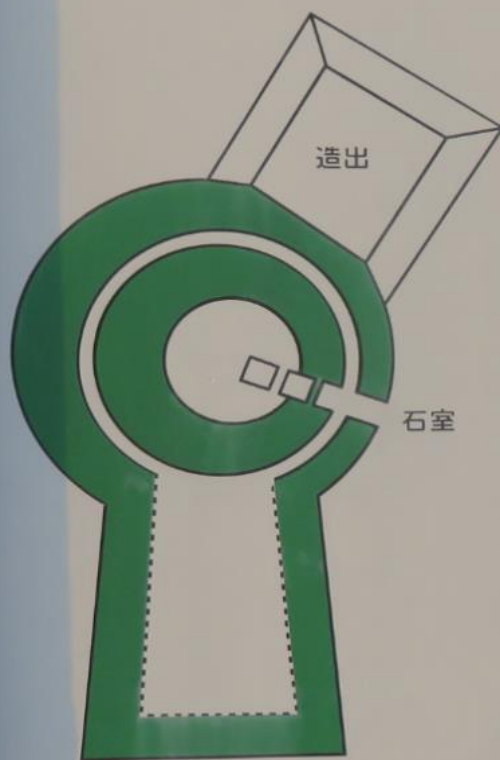


これが岩屋古墳/前方後円墳/正面が後円部で、その手前に造出部があるのだが、木々で良く判別できない/左奥が前方部



向山1号墳とも呼ばれ、2段築成で葺石を持つ6世紀後葉築造の前方後円墳/後円部に大きな造出部がある

岩屋古墳



向山丘陵の最も北側に位置するこの古墳は、全長52m、後円部径30m・高さ6m、前方部幅20mを測る前方後円墳で、後円部の東側に台状造出がありました。二段築成(後円部)の墳丘には葺石が巡らされていました。

後円部南側に全長9mを測る横穴式石室が開口しています。石室は前室と後室からなる複室構造で、各壁を1枚の切石で構成し、入口はくりぬいた玄門を採用する石棺式石室と呼ばれる整備なものです。

須恵器、円筒埴輪、形象埴輪(人物・馬・水鳥)、鉄刀、馬具などが出土し、6世紀後葉に造られたものと考えられます。

岩屋古墳 墳丘復元想定図

これがその造出部の辺りを見たところ



これは前方部から後円部方向を見たところ



正面は後円部に開口する横穴式石室



前室の天井部が消失しているため、覆屋が設けられている/また、開口部の石材を補強するために鉄枠が開口部に設置されている



こんな塩梅/石室は前室と玄室とからなり、ここは前門



ここは前室で、正面に玄室への刳り抜き式玄門が開いている



玄室内部を玄門から覗き込んだところ/こういう石室を石棺式石室というようだ



これは玄室内部で、正面が奥壁/玄室内部はきれいな切石で組み立てられており、また壁の部分部分に赤い顔料が残っていると云うが...



さて、正面は向山8号墳/説明板が立っている



6世紀中頃築造の方墳/「後円部」と記されているのは間違いのようだ

向山8号墳

一辺26m、後円部径18m・高さ2.8mを測る方墳で、周溝が確認されています。

須恵器、円筒埴輪、形象埴輪などが出土し、6世紀中頃に造られたものと考えられます。

標柱も立っている



こんな塩梅



その右手から見たところ



これはそこから丘陵の下を見たところ



これは「白鳳の丘展示館」に展示されている岩屋古墳出土の遺物



岩屋古墳

[古墳時代後期]

向山丘陵の北端に所在する、全長52mを測る前方後円墳。後円部には、精美な切石造りの横穴式石室が開口している。副葬品ふくそうひんは不明だが、周溝から武人や水鳥、馬形の埴輪が出土しており、古墳の主の力を物語る。

参考ホームページ

<https://www.city.yonago.lg.jp/14198.htm>

<http://yonagobunka.sanin.jp/system/site/upload/dec/6135/atc.1374078518.pdf#search=%27%E5%B2%A9%E5%B1%8B%E5%8F%A4%E5%A2%B3%EF%BC%88%E7%B1%B3%E5%AD%90%E5%B8%82%E6%B7%80%E6%B1%9F%E7%94%BA%EF%BC%89%27>

<http://obito1.web.fc2.com/yonagomukou.html>

<http://kofuntokaare.tonosama.jp/page143.html>

<http://kofuntokaare.tonosama.jp/page170.html>

<https://history.midoriit.com/2013/04/向山古墳群.html>

<http://go29.boy.jp/kofun/chugoku/?p=509>

